



製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
担当部門: コンシューマー&プロフェッショナルイメージング事業部
所在地: 東京都中央区新川2 - 27 - 1 (〒104-0033)
電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2303

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒 110 番】
(事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤル Q2 有料)
又はダイヤル Q2 を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000005281/F/AUS/JP
承認日: 2002年06月12日
作成日: 2003年11月26日

1 製品名

コダック フレキシカラー定着補充液 KWCL

CAT No.660057-1

5リットル用

2 危険・有害性の分類

原液:

該当成分 : 亜硫酸ナトリウム (7757-83-7)、重亜硫酸ナトリウム (7631-90-5)、チオ硫酸アンモニウム (7783-18-8)を含む。

警告!

誤飲すると有害になることがある。眼に炎症を起こす。

乾燥した残留物は還元剤として作用することがあります。

使用液:

該当成分 : 亜硫酸ナトリウム (7757-83-7)、重亜硫酸ナトリウム (7631-90-5)、チオ硫酸アンモニウム (7783-18-8)を含む。

警告!

誤飲すると有害になることがある。

3 物質の特定

原液:

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	35-40	7732-18-5	
チオ硫酸アンモニウム	50-55	7783-18-8	
亜硫酸ナトリウム	1-5	7757-83-7	
重亜硫酸ナトリウム	1-5	7631-90-5	

使用液:

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	80-85	7732-18-5	
チオ硫酸アンモニウム	10-15	7783-18-8	
亜硫酸ナトリウム	<1	7757-83-7	
重亜硫酸ナトリウム	<1	7631-90-5	

4 | 応急措置

吸入した場合 : 症状が出たら、空気の新鮮な場所に移動する。症状に応じて対処する。症状が続くならば、医療手当を受ける。

眼に入った場合:

原液 : 直ちに、多量の水で 15 分以上洗眼する。症状が出たら、医療手当を受ける。

使用液 : 直ちに、水で洗眼する。症状が出たら、医療手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石鹼と水で洗う。症状が出たら、医療手当を受ける。

誤飲した場合 : コップ 1~2 杯の水を飲み、内科医の手当を受ける。被災者が意識喪失の場合何も口から与えてはならない。

5 | 火災時の措置

消火手段 : 周辺の火災に対し、適切な消火剤を使用する。

火災時の特別対応手段 : 呼吸用保護具と保護衣を着用する。火災や過度の熱により危険な分解物質を生じることがある。

有害燃焼物質 : なし(不燃性)('危険分解物質'の項も参照)

異常火災/爆発の危険性 : なし

6 | 漏出時の措置

多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。
漏洩箇所を十分拭き取る。

7 | 取扱い・保管上の注意

取扱い : 蒸気を吸い込まない。眼に入れない。長時間または繰り返し皮膚に付着させない。適度な換気を行う。取扱い後は、十分に手などを洗う。その他、毒劇法の定めるところに従う。

火災や爆発の防止 : 酸化剤から離す。

保管 : 密栓して保管する。不適合物質から離して保管する('不適合物質'の項を参照)。その他、毒劇法の定めるところに従う。

8 | 暴露防止措置

許容濃度:

ACGIH (TLV):

重亜硫酸ナトリウム : 5mg/m³ TMA

換気 : 換気の良い場所で取り扱う(10 air changes/時間)。換気速度は使用状態に合わせる。

呼吸器系の保護 : 必要なし

眼の保護:

原液 : 側板付きメガネまたはゴーグル保護メガネの着用。

使用液 : 眼への付着を最小限にする。側板付きメガネまたはゴーグル保護メガネの着用。

皮膚の保護 : 皮膚への付着を最小限にする。長時間または繰り返し皮膚に付着する可能性のある操作では、不浸透性の手袋を着用する。

浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(安全シャワー)

9 | 物理・化学特性

	原 液	使 用 液
外 観	液 体	液 体
色	無 色	無 色
臭 気	アンモニア臭	無 臭
比重(水 = 1)	1.36	1.07
蒸気圧(20)	24 hPa (18 mmHg)	24 hPa (18 mmHg)
蒸気密度(空気 = 1)	0.6	0.6
揮発留分(重量)	35 ~ 40%	80 ~ 85%
沸 点	> 100	> 100
水溶性	完 全	完 全
pH	6.2	6.5
引火点	なし (不燃性液体)	なし (不燃性液体)

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定

不適合物質:

原液 : 強酸化剤、塩基、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)、亜硫酸ナトリウム。
塩基と接触すると可燃性物質を発生する。

使用液 : 強酸化剤、塩基、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)、亜硫酸ナトリウム。

危険分解物質 : アンモニア、二酸化硫黄、クロラミン、窒素酸化物(NOx)。

危険重合物質 : 発生しない。

11 有害性情報

暴露の影響:

- 吸入 : 通常取扱いでは、危険性は少ないと予測される。強酸に接触したり、加熱すると亜硫酸ガスを発生する。亜硫酸ガスは気道に炎症を起こす。一部の喘息または過敏症の人は呼吸困難に陥ることがある。
- 眼 : 知見なし。一時的な炎症を起こすことがある。
- 原液 : 炎症を起こす。
- 使用液 : 知見なし。一時的な炎症を起こすことがある。
- 皮膚 : 過敏症の人はアレルギー反応を起こす。
- 誤飲 : 飲み込むと有害になることがある。一部の喘息または過敏症の人は呼吸困難に陥ることがある。

12 環境影響情報

この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。

本製品の主要成分のデータに基づいて本製品の環境への影響を評価しますが、実際には試してはいません。

水質系に流出した場合、BODは中庸で、酸素を破壊する可能性がある。一部の水中生物への影響は中庸。二次廃棄物処理微生物代謝に影響を及ぼす可能性は中庸。一部の植物の発芽や初期の成長に影響を及ぼす可能性は中庸。多量の水で希釈したうえ二次廃棄物処理を行えば、自然環境に放たれても問題はないであろうと思われる。

13 廃棄上の注意

本製品を廃棄する場合は産業廃棄物に該当する。産業廃棄物処分量の免許を持った業者へ産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。

廃棄物に該当する法規:

- 廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃酸)
- 水質汚濁防止法 : 生活環境項目
- 下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

Air Transportation. Not Regulated. 規制なし

- Class : -----
- UN-No. : -----
- Proper Shipping Name : -----
- Subsidiary risk : -----
- Packing group : -----
- Passenger Aircraft : -----
- Cargo Aircraft Only : -----

15 適用法規

該当なし。

化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: -----
毒物劇物取締法 (毒劇法)	: -----
労働安全衛生法 (安衛法)	: -----
消防法危険物分類 (消防法)	: -----

16 その他

危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、
取扱いには十分注意してください。